

公共施設の今後のあり方に関するアンケート調査

結果報告書

平成29年8月

犬山市

目次

1. アンケート調査の概要	
(1) 調査の目的 1
(2) 実施状況 1
2. アンケート回収票の信頼性 2
3. アンケート集計結果	
(1) 調査回答者の属性 3
(2) 公共施設(建物)の優先度 4
(3) 福社会館の今後のあり方 5
(4) 国際観光センター(フロイデ)の今後のあり方 6
(5) 市民文化会館の今後のあり方 7
(6) 建物とインフラ施設の重要度 8
(7) インフラ施設の優先度 9
(8) その他10

1. アンケート調査の概要

(1) 調査目的

本市の公共施設は、高度経済成長に併せて建設されており、近い将来に建て替えや大規模な修繕が一斉に必要となることが予測されている。加えて、建設当時から社会経済状況が大きく変化したことにより、その役割や機能を再検討する必要も出てきた。

一方で、急速な少子高齢化が進む中で、本市の収入は大幅な増収が望めず、支出では社会保障費の占める割合が年々増加していく傾向にある。そのため、現在あるすべての公共施設を健全な状態で維持していくことは、極めて困難な状況にある。

本市では、こうした現状に対応していくため、平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定し、最適なコスト管理と施設の有効活用を図り、次世代の財政負担を軽減するため、各施設のあり方の検討を進めている。

本調査は、市民の意向を市の方針決定に反映させることが重要であると考え、アンケートという形で実施したものである。

(2) 実施状況

実施時期	平成29年6月28日(水曜日)から 平成29年7月24日(月曜日)まで
対象者	市内在住の20歳以上の方、1,000名
抽出方法	20代から60代以上までの各年代を均等に、各地域比率に応じて無作為に抽出
調査方法	郵送による配付、回収
発送通数	1,000通
回答通数	394通
回答率	39.4%

2. アンケート回収票の信頼性

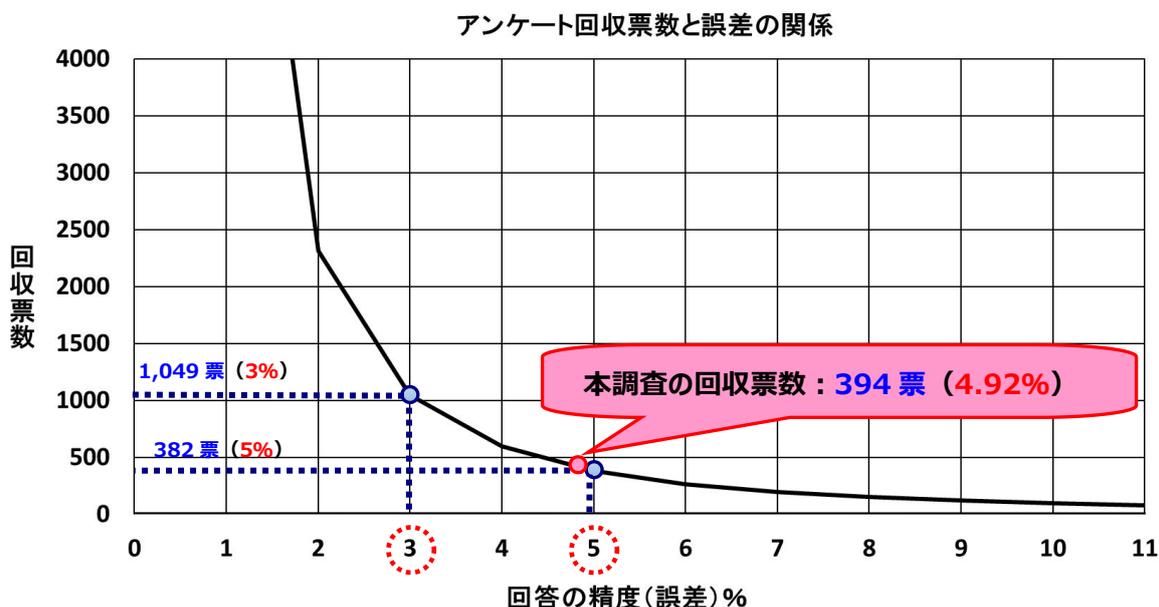
アンケートの回収票数と精度(誤差)との関係は、票数が多いほど精度(誤差)は高くなる(誤差は小さくなる)ことは想像にたやすい。しかしながら、その関係は一定ではなく、ある一定の数を超えると、票数を増やしても精度(誤差)はほとんど変化することはない。

統計学的には、この精度(誤差)は3~5%以内であれば良いとされており、本調査に置き換えると382~1,049票となる。つまり、有効回答票の回収票数がこの範囲であれば、住民意向の把握として十分信頼性があると言える。

本調査では、394票の有効回答票数があったため、精度(誤差)は4.92%となった。(下記のイメージ図および算定式参照)

これは、例えば、今回の無作為抽出した市民とは異なる市民の方々を対象として、同様の調査を100回実施したとしても、95回(本調査では信頼度を95%に設定している)は、その結果が±4.92%以内でしか変わらないということになる。

以上のことから、「本調査は住民意向の把握として十分信頼性を確保している」ということが言える。



【アンケートで必要となる回収票数の算定式】

必要な標本数 = $N / \{ (E/K)^2 \times (N-1) / (P \times (1-P)) + 1 \}$

N: 母集団(アンケート対象者数: 犬山市の20歳以上の人口 60,930人と定義)

E: 回答の精度(一般的には誤差3~5%が望ましいとされている)

K: 信頼度係数(信頼度によって一義的に決まる係数で信頼度95%とした定数 1.96に設定)

P: 予想される母集団比率(最も誤差が生じる母集団比率 0.5に設定)

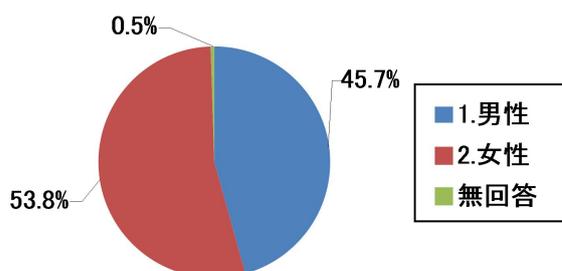
3. アンケート集計結果 ※ 図及び表中のデータ数値は、端数処理のため、合計と一致しない場合があります。

(1) 調査回答者の属性

問1 あなたの性別、年齢、職業、お住まいの地区について教えてください。

【性別】

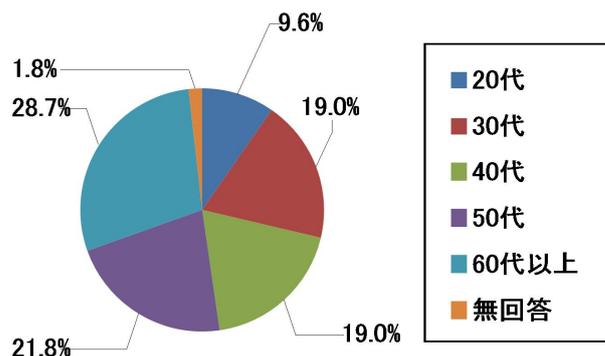
回答者の性別は、女性の方が多い結果となった。



解答肢	回答数	割合
1.男性	180	45.7%
2.女性	212	53.8%
無回答	2	0.5%
合計	394	100%

【年齢】

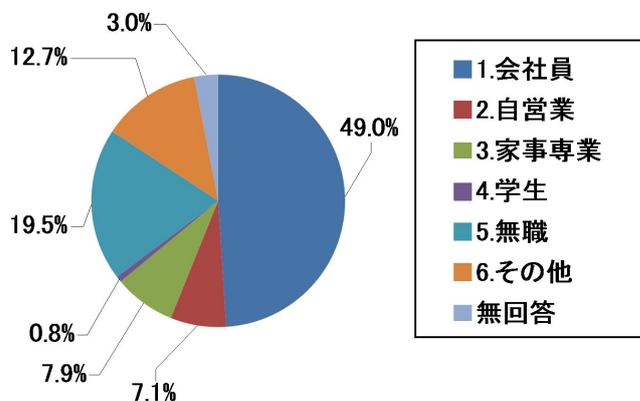
回答者の年齢は、60代以上が多く、30代～50代は同程度の割合、20代が少ない結果となった。



解答肢	回答数	割合
20代	38	9.6%
30代	75	19.0%
40代	75	19.0%
50代	86	21.8%
60代以上	113	28.7%
無回答	7	1.8%
合計	394	100.0%

【職業】

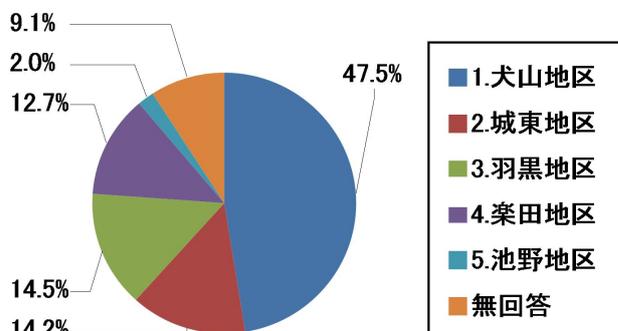
回答者の職業は、半数が会社員と最も多く、次に無職が多い結果となった。



解答肢	回答数	割合
1.会社員	193	49.0%
2.自営業	28	7.1%
3.家事専業	31	7.9%
4.学生	3	0.8%
5.無職	77	19.5%
6.その他	50	12.7%
無回答	12	3.0%
合計	394	100.0%

【 お住まいの地区 】

回答者の住んでいる地区の割合は、市全体の人口に対する地区別人口の割合と概ね一致する結果となった。



解答肢	回答数	割合
1.犬山地区	187	47.5%
2.城東地区	56	14.2%
3.羽黒地区	57	14.5%
4.楽田地区	50	12.7%
5.池野地区	8	2.0%
無回答	36	9.1%
合計	394	100.0%

(2) 公共施設(建物)の優先度

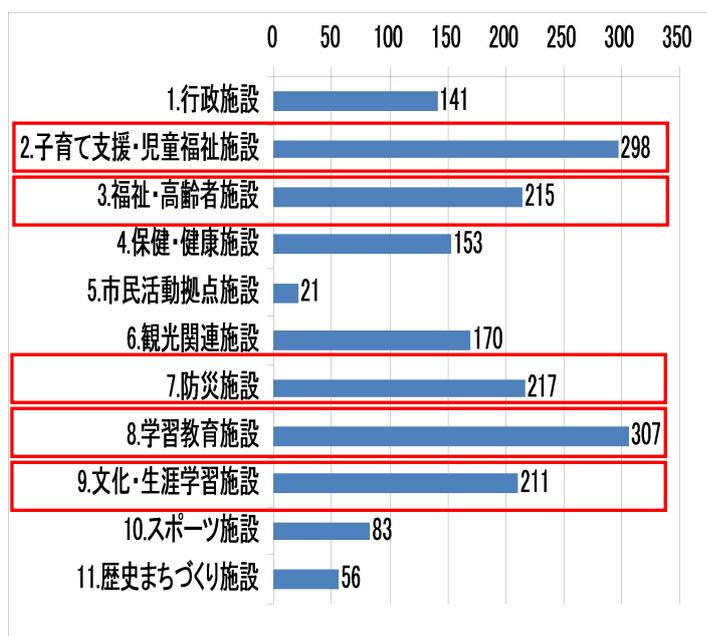
問2 厳しい財政状況の中で、公共施設(建物)を健全な状態で維持していくためには、優先度を決めて改修や建て替えなどの予算を配分する必要があると考えています。

そこで、今後、本市が改修や建て替えなどに限られた予算を配分する場合の参考とするためにお聞きします。

あなたは、どの公共施設(建物)の優先度が高く重要であると思いますか。

(上位5つを選択)

公共施設(建物)の優先度は、「学習教育施設」が最も高く、次いで「子育て支援・児童福祉施設」、「防災施設」、「福祉・高齢者施設」、「文化・生涯学習施設」という結果となった。



解答肢	回答数	割合
1.行政施設	141	7.5%
2.子育て支援・児童福祉施設	298	15.9%
3.福祉・高齢者施設	215	11.5%
4.保健・健康施設	153	8.2%
5.市民活動拠点施設	21	1.1%
6.観光関連施設	170	9.1%
7.防災施設	217	11.6%
8.学習教育施設	307	16.4%
9.文化・生涯学習施設	211	11.3%
10.スポーツ施設	83	4.4%
11.歴史まちづくり施設	56	3.0%
合計	1872	100.0%

(3) 福社会館の今後のあり方

問3 福社会館は、建設後46年が経過し、外壁や電気・空調設備などが著しく老朽化しています。また、城下町地区に位置することから、建物自体が景観を悪くしていることも問題視されており、今後のあり方について早期に決定し、実行に移す必要があります。

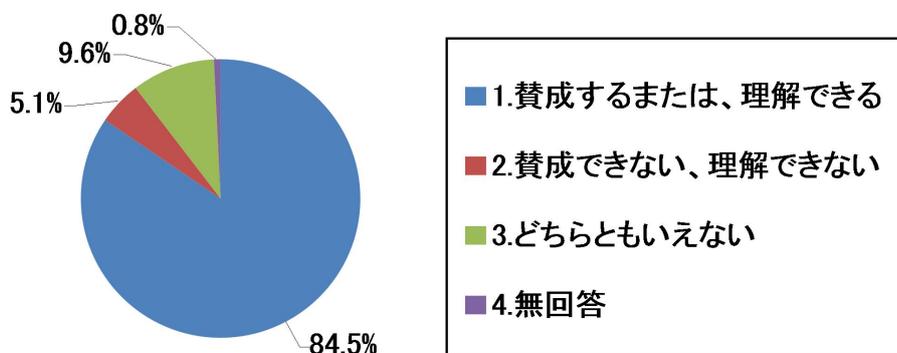
そこで、本市では、一部機能（各種団体の事務所や相談窓口機能など）を他の公共施設へ移転し、この地域の集会機能などは残すこととし、景観向上のためにも2階建て程度の施設としていく検討をしています。

手法としましては、「現施設の一部（3～5階）を撤去し、景観に配慮した形で改修する方法」と「現施設を解体撤去し、新たに2階建て程度の施設を新築する方法」があります。

他市の事例などを参考に建設費を試算し、比較してみると「現施設を解体撤去し、新たに2階建て程度の施設を新築する方法」の方が低コスト（概ね6割程度）で、かつ十分に建物寿命も確保できることから、選択すべき手法であると考えています。

あなたはこのような本市の考え方についてどう思いますか。

福社会館の今後あり方については、「市の考え方に賛成するまたは、理解できる」が84.5%と多い結果となった。



解答肢	回答数	割合
1.賛成するまたは、理解できる	333	84.5%
2.賛成できない、理解できない	20	5.1%
3.どちらともいえない	38	9.6%
4.無回答	3	0.8%
合計	394	100.0%

(4) 国際観光センター(フロイデ)の今後のあり方

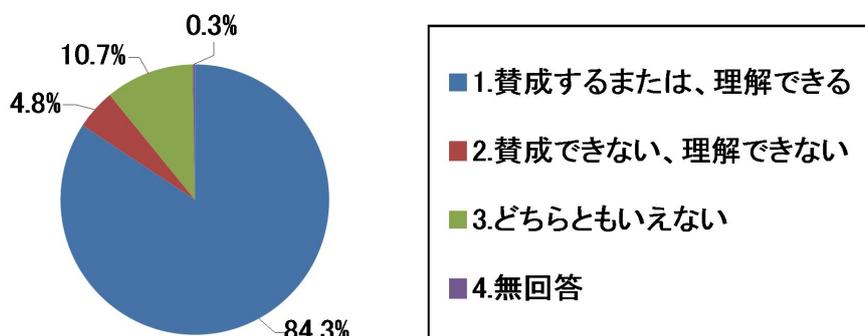
問4 国際観光センター(フロイデ)は、犬山の豊かな観光資源と国際交流とを関係付ける拠点施設として平成7年に建設されました。

当初は「国際観光の振興」「国際交流の促進」という目的で設置されましたが、現在ではこの目的での利用だけではなく、新たな需要が増加してきています。

そこで、本市ではさらなる施設の有効活用を図るために当初の設置目的を見直し、「健康、福祉、教育、文化など様々な分野にわたる市民の地域づくり活動を支援する機能を持った施設」として生まれ変わらせたいと考えており、検討を進めています。

あなたはフロイデの今後に対する市の考えについて、どう思いますか。

国際観光センター(フロイデ)の今後あり方については、「市の考え方に賛成するまたは、理解できる」が84.3%と多い結果となった。



解答肢	回答数	割合
1.賛成するまたは、理解できる	332	84.3%
2.賛成できない、理解できない	19	4.8%
3.どちらともいえない	42	10.7%
4.無回答	1	0.3%
合計	394	100.0%

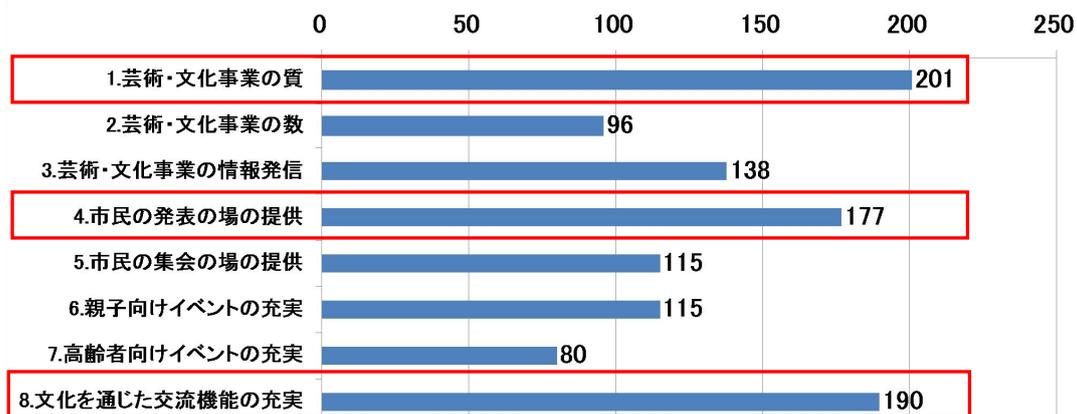
(5) 市民文化会館の今後のあり方

問5 市民文化会館は、市民の皆さまに、優れた芸術文化を身近に触れてもらうための施設として建設されました。建設後34年が経過し、建物や設備の各所で老朽化が見られ、限られた予算の中で改修を行いながら運営しています。

本市としましては、市民文化会館は、市民の皆さまの期待に応えるため、今後も建物の改修や運営の見直しを行いながら、継続させる施設と考えております。そこでお聞きします。あなたが市民文化会館に期待するものは何ですか。

(上位3つを選択)

市民文化会館に期待するものは、「芸術・文化事業の質」が最も多く、次いで「文化を通じた交流機能の充実」、「市民の発表の場の提供」という結果となった。



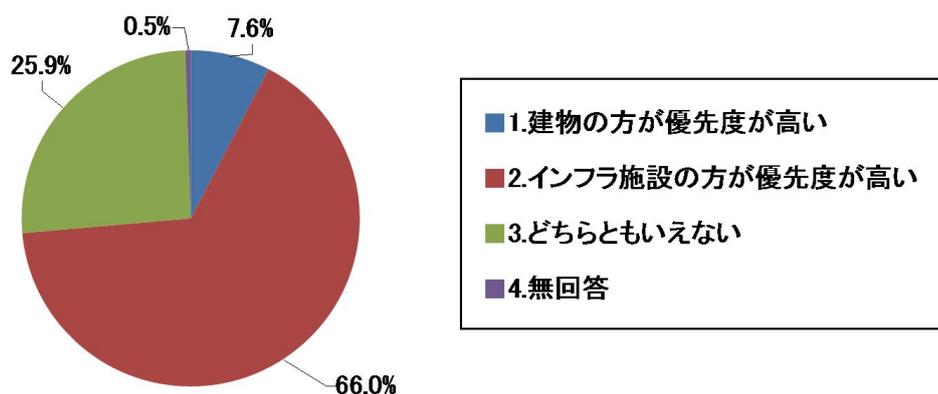
解答肢	回答数	割合
1.芸術・文化事業の質	201	18.1%
2.芸術・文化事業の数	96	8.6%
3.芸術・文化事業の情報発信	138	12.4%
4.市民の発表の場の提供	177	15.9%
5.市民の集会の場の提供	115	10.3%
6.親子向けイベントの充実	115	10.3%
7.高齢者向けイベントの充実	80	7.2%
8.文化を通じた交流機能の充実	190	17.1%
合計	1112	100.0%

(6) 建物とインフラ施設の重要度

問6 公共施設は、建物だけではなく、上下水道、公園、道路、橋梁などのインフラ施設もあります。これら施設も建物と同様に老朽化が進んでいますが、厳しい財政状況の中では優先度を考え、予算を配分していかなければなりません。

インフラ施設も建物も、市民の皆さまの生活になくてはならないものであると考えていますが、改修などに限られた予算を配分する場合、あなたは建物とインフラ施設ではどちらの優先度が高いと思いますか。

建物とインフラ施設の重要度については、「インフラ施設の方が優先度が高い」が66.0%と多く、「建物の方が優先度が高い」が7.6%と非常に少ない結果となった。また、「どちらともいえない」が25.9%と比較が難しいことが推察される。



解答肢	回答数	割合
1.建物の方が優先度が高い	30	7.6%
2.インフラ施設の方が優先度が高い	260	66.0%
3.どちらともいえない	102	25.9%
4.無回答	2	0.5%
合計	394	100.0%

(7) インフラ施設の優先度

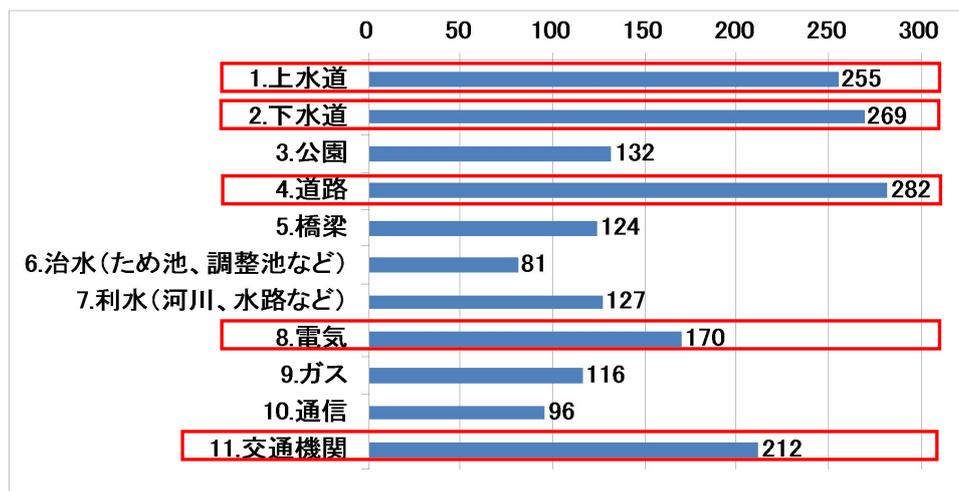
問7 厳しい財政状況の中で、本市が管理しているインフラ施設を維持していくためには、優先度を決めて改修などの予算を配分する必要があると考えています。また、インフラ施設は、本市の責任において管理しているもの以外にも電気、ガス、通信、交通機関など様々なものがあります。

そこで、今後、本市が改修などに限られた予算を配分する場合の参考とするためにお聞きします。

あなたは、どのインフラ施設の優先度が高く重要であると思いますか。

(上位5つを選択)

インフラ施設の優先度は、「道路」が最も高く、次いで「下水道」、「上水道」、「交通機関」、「電気」という結果となった。



解答肢	回答数	割合
1.上水道	255	13.7%
2.下水道	269	14.4%
3.公園	132	7.1%
4.道路	282	15.1%
5.橋梁	124	6.7%
6.治水(ため池、調整池など)	81	4.3%
7.利水(河川、水路など)	127	6.8%
8.電気	170	9.1%
9.ガス	116	6.2%
10.通信	96	5.2%
11.交通機関	212	11.4%
合計	1864	100.0%

(8) その他

その他、「公共施設の今後のあり方」に関して、ご意見がありましたら、ご記入ください。（自由記述）

主な意見は以下のとおりであり、各項目ごとに分類し、可能な限り原文に近い形で掲載している。なお、本アンケートと趣旨が異なるものに関しては掲載していない。

【公共施設/まちづくり:全般】

【施設の集約化、統廃合、維持管理費に関する事項】

・厳しい財政状況ならば、市の支出を抑制すればよい。箱物を増やせば色々な経費がかかる。現在ある物で、工夫次第では色々な活用方法がある。市民と一緒に探そう。

・どこの自治体にも共通することのようですが、箱物を造っても十分活用されず管理費に苦しんでいることをよく聞きます。人口減少社会ですから箱物に限らず、統廃合や身の丈・財務体力に見合った程度に縮小すべきです。観光施設や市外から人をよびこむためのイベント等から納税者たる住民のためにシフトすべきです。

・人口が伸びず高齢化が進み税金の増収が見込めないことから、優先順位をしっかりとつけ取り組んで欲しい。他の市町村で過去によく見られたモニュメントのような箱物ありきにはしていただきたくない。本当に市民にとって必要不可欠なものから改修あるいは新設を望みます。また、様々な業界や団体から陳情があり、人気取りのためにどこにもいい顔をするのではなく、優先順位の高い所に集中的に投資して中途半端な状態で完成したときにはすぐ修繕が必要というようなことが無い様にして欲しい。

・機能が重複しているような施設、バランスが悪い。犬山地区、羽黒地区に集中しているが利便性が悪い。駅からも遠いし、駐車場も少ない。アクセスする道もない。現状の場所にとらわれずに、機能性を重視した建物してはどうか。デザイン重視で使い勝手が悪い、雨漏りする、維持費が高いなど、一般の会社では通用しない。体育館、名証跡地の使い方意味、意義が感じられない。消防出張所もあの場所以外でもできたはず。今後のことを考えると子どもたちが犬山に住み続けたいと思うようなまちづくりをしないとどんどん人口が減っていく。観光ばかりでは先はない。

・財政状況が厳しいのであれば、公共施設のあり方、使い方を整理し、必要最低限の機能のみを集約した施設を一つのみ建設するなど検討してほしい。

・公共施設は共同利用できるよう一つの目的だけでなく、多目的に利用できるようにするべきである。交通の便の良いところに集中させるべきである。本町等からは近代的な施設はなくていくべきである。

・全ての施設を維持していくためには、経費が掛かりすぎるため、施設の数や規模などを見直しつつ計画的な維持管理と更新が必要だと思う。今ある施設の向上よりも今の環境の向上、市民が過ごしやすい市をつくってほしい。

・犬山城を中心とした現状ありきの箱もの維持感が否めない。人口割合の変化を把握し、まとめられるものはまとめたいほうが良い。

・例えば、フロイデについて、機能を充実させ魅力ある施設としたいことは理解はできます。しかし、機能を集約するのであれば、既存の重複する施設の廃止なども同時に検討すべきです。厳しい財政状況であれば、拡張するだけでは厳しくなるばかりでいつまでも改善することはできないと思います。

・フロイデ等、建設すればよいのではなく、維持管理の方が大事であるので、今後、本当に必要なものをよく考えることが大切。

・全国的に人口の減少が見込まれる中、従来のような開発・発展はありえないでしょう。新規に施設を作ることは最小限にして、今持っている市の資産の維持に力を入れるべきだと思います。また、他の地域の方々が犬山市に求めるものは、大きなショッピングモールでも最新の公共施設でもなくやはり古い街の様子であると思います。ただ、犬山に住む人間は、有名地になったり、何の縁のない踊りを披露するより、静かに暮らせる環境を何よりも欲しています。いろいろな意味で「発展しない街」を考えてみてほしいかと思います。

・犬山市域は、名鉄沿線地域と車の移動しか交通手段のない地域が両極端ではあるが、施設を集約して、維持管理費を押さえる検討も必要では。そのためにどちらかの地区が不利益になるため、送迎手段の充実の検討も併せて行うこと。箱物が財政のお荷物なのは明白のため、多目的施設に集約してください。

・同じような施設が多い。棲み分けができているように思えない。

・建物だけ造ってもうまく利用されなければ意味がない。維持コストを減らし、利用者を増やすイベント等の充実を考えていくと良い。

・大阪、神奈川、愛知と住民票を置いて住んだ経験がありますが、住環境は現在の犬山市が一番良いと感じています。犬山市は、おそらく建物のメンテナンス費用も都市部の合理的な管理と比べると割高ではないかと感じている。

・各地区のみで公共施設が完結している。楽田地区の人、羽黒地区の人しか使わないという施設が多い。各地区と中心部をつなぐ交通機関を整備してほしい。小牧市のように土日でもシティバスが走っていると便利。車がないと働けないまちではさびしい。

- ・施設ごとに各々の場所にあるのは不便。市民の一番利用しやすい所にまとめてあればよいと思う。
- ・福祉会館のように機能を振り分けることにより、縮小または閉鎖できる施設の検討を行い、維持すべき施設へ予算が回るように全体の見直しをしてもらいたい。
- ・複数の建物を一ヶ所に集め建てたほうが機能的だと思う。総合的に費用が掛からないほうが良い。
- ・ともかく建物ありき、施設ありきには反対する。「さらさくら」のように不便なところには車なしではなかなか行けない。もっと市役所周辺を便利にしてほしい。
- ・楽田出張所をふれあいセンターへ移転。消防第5分団の車庫は消防署南出張所に統合。跡地は売却。子ども未来園の統合。山の田公園はコミュニティに管理委託する。
- ・点々としているところがイヤ。市民プールだって何の話も進んでないし。どこに人を集めたいのかが分からない。体育館、武道館、フロイデ、この3つがスポーツ発信基地だけであっちこっちにある。せめて市民プールを改修してフロイデは民間に譲渡し、市民プールと体育館でスポーツの発展を担えばいいと思う。犬山はやることなすこと中途半端。思いつきでやりすぎ。計画性がない。犬山好きだけど、市の施設は使いづらい。誇れるのは犬山城だけ。
- ・福祉会館は必要か(町の中に)、文化会館どれだけの利用度あるか人件費削減、同じくフロイデ利用度年間どれだけあるか、すべて一本化すべき、立地的にはフロイデかと。東側のパチンコ屋買取一本化すべき。
- ・公共施設の数を思い切って減らし、改修費のみならず、管理人(人件費)を削減することが肝要。
- ・公民館、学供、老人憩いの家、しみんてい、旧磯部邸は地元で維持管理させるか、無償で譲渡する。

【観光と市民生活のバランスに関する事項】

- ・市民にとってそれほど重要でない観光資源に活力し過ぎているような気がする、インフラについてもなくてはならないものと代替ができるものの区別が必要、建物は安全のためを最重要とし、ついで将来につながるものを重視、フロイデや市民文化会館は資金に余裕があったときに考えれば良い、何かを造ればメンテナンスにも必ず考えておきたい。これは将来の重荷となる場合も多い。
- ・建物や観光施設は目立って必要のように思えますが、生活あつての事だと思います。
- ・城下町は賑わっていますが、そこで生活する私たちには迷惑なだけです。通行止めになる際には住民の駐車場を用意してほしい。

- ・観光も大事ですが、市民の生活を優先していただきたい。
- ・観光など安易に流れず、本物志向をお願いします。
- ・観光客の増加に対応して、一休みできるようなピクニックエリアみたいな場所があるといい。
- ・犬山城周辺のみ予算を配分しすぎ。

【防災、安全に関する事項】

- ・安全かつ過ごしやすい空間があって欲しい。特に学校などの老朽化を心配しており、子ども達を安心して通わせたいと思っております。
- ・生命に関わるものの優先度を高く設定していただければと思います。
- ・災害時を想定した避難所として活用しやすく市民全体で使える公共物としてほしい。
- ・各自治会に防災倉庫を設置し、災害が発生したら、各世帯の食糧を2～3日確保できるような体制をお願いしたい。避難所には、防災無線を設置してほしい。
- ・あらゆる施設を地震、台風などの災害時に防災、避難所施設として利用できるようにしてほしい。
- ・災害への事前の対応を取るためにも、老朽化した建物は建て替えをすることが望ましい。
- ・地震が起こることを考え、施設の改修を行ってほしい。避難場所が危険では意味がない。
- ・南海トラフに備え、避難所など地震に強い公共施設にしてほしい。道路などのインフラも同様。
- ・公共施設を改修する際、是非防災無線の完備をお願いしたい。
- ・地震に備え、特に避難所となる建物を強化する必要あり。

【受益者負担、施設使用料、施設利用に関する事項】

- ・公共施設の利用については、受益者が適正に負担をする仕組みが必要。また、公共施設は利用者(受益者)よりも圧倒的に多い納税者の立場を考え、最も負担の少ない方法で最小限にしていくべき。少子化には歯止めをかけられないので、そのことを見据え整理を進めていくべき。

- ・公共施設を使う人と公共施設を使わない人との不公平さはどのように対応していかれるのかを知りたいです。
- ・町内の補助金を見直して欲しい、あまり困っていないと思う。

- ・無料施設(野球場、テニスコートなど)を有料にすべき。

- ・市民に限らず、周辺からも人が集まるような文化事業の実施や施設の設置をすることで、施設使用料が増加し、施設の維持費へ多少なりとも回すことができるようになる。

- ・普段使用することがないので、どこにどんな施設があるのかわからない。場所が分かりづらい。楽田にあるコミュニティ施設は、年300円負担しているが、いざ使用しようとすると、イヤな顔をされた。せつかくの公共施設なので、市民が気持ちよく使用できるようにしてほしいです。

- ・公共施設を使ってお稽古などをするとき、各月の1日に場所取りをしなくてはなりません。長く待たされ大変な仕事ですのでなんとかならないでしょうか。

[その他の意見や提案]

- ・国際観光都市として公共トイレの整備を早く行ってほしい

- ・犬山に住んでもう10年になります。現在は、後期高齢者です。体育館、市民会館、福祉会館、フロイデ、地域の公民館、出先の健康館と色々利用させていただきました。新体育館グラウンドも利用させていただいて楽しく思います。特にさら・さくらの健康館は月に最低3日は利用させていただいております。やはりこちらがその気になってお世話にならないと色々良く分らないと思います。これからも市民が進んで利用していけるようにPRかたがた運営の方もよろしくお願ひしたいと思ひます。

- ・新しい公共施設として農業学校の誘致や、シルバー人材センター、農協とタイアップした市営農業センターの設立をしてはどうか。

- ・市民にとって優秀な医療施設があることが一番の安心の源であり、市民病院が必要と考える。無理ならば、中央病院に名鉄の駅を設置してほしい。

- ・65年で600億は甘すぎる。長期でのお金の価値は変化が大きい。65年間のことを考えるなら、どういふ「市」になつていくのかというヴィジョンが重要。

- ・なぜ建物の建て替えなどに600億もかかるのか、必要なものだけにすべきである。

- ・公共施設は、利用頻度の高いものを優先して実施してほしい。

- ・児童施設において、現代に見合った環境を整えてください。
- ・公共施設修繕のための寄附を募ってもいいのではないか。私なら教育施設(学校)の修繕に必ず使われるというなら、寄附をしてもいいと思う。
- ・体育館の会議室などの稼働率を上げる努力をすべき、貸し出し規定を明確にし、事前受付(1ヶ月前ではダメ)をもっと前にしないと企業は借りてくれない(以前に借りようとしたが、規定が不明確で人によって返答が違う。直前でないと結果がでない。)収入が減ってきているにもかかわらず、見直しや努力が足りない。
- ・可児市のようにしっかりとした施設で民間委託もいいと思う。市民利用は優先、半額くらいの使用料で。
- ・近隣市からも人の呼べる催しをしてほしい。
- ・公共施設で、どのようなイベント、交流をしているのか情報が来ないので、市民すべてにわかるよう発信してほしい。
- ・施設改修では分かりやすい案内、マークの設置を。
- ・建物の寿命は全施設に設定されていますよね。その時全て更新されるとは限らないと考えられるが、基準はあるのですか。
- ・観光地としてもっと外国人や国内の人たちが気軽に来て泊まり、食事などをできる場所を増やしてほしい。
- ・若者が住みやすく使いやすい物として先進的な人々を増やしてほしい。
- ・子供の集まる場所(児童センターなど)をもう少しきれいにしてほしい。子供たちが雨の日に遊べる場所がほしい。
- ・高齢者に向けた政策ではなく、若年層に集中した投資をすべき。
- ・親子で楽しく一日遊べる施設を考えてほしい。
- ・図書館を大きくしてほしい。蔵書量を増やす。
- ・保育園なども増やしてほしい。
- ・高齢者、子どもを対象とした施設の整備は、市民が住みやすいまちづくりに大きな意味がある。

- ・利用者の多い施設から優先的に改修してほしい。
- ・公共施設利用がもっと簡単にできるようにしてほしい。老人が気軽に利用できるような場所であってほしい。
- ・公共性の高い民間施設の誘致。例えば、大型ショッピングセンター、TUTAYA 図書館のようなもの、五郎丸駅等に力を入れてほしい。
- ・公共施設はまったく使ってないです。イベントとかも少ないし。老朽化とか、はじめに作った時に次の改修とかの予定を立てるべき。
- ・利用方法がわからないため、利用できない。利用案内があったらいい。もっと市民が利用できるように。
- ・公共施設は汎用性が高い反面、どこも特徴があまりなく、そこにいく時のワクワク感がない。犬山市の名物になるような公園や美術館が出来るといい。
- ・公共施設はどれも重要で選択が困難であった。

【建物(個別施設)】

福祉会館

- ・福祉会館・文化会館共にもう少し市民の出入りが多くなればいいのにとっております。
- ・福祉会館本当に必要ですか。
- ・人命第一、事が有ってからでは遅い、色々の意見があるかもしれませんが、福祉会館すぐにでも建て直しが必要。
- ・新たな施設(エナジーサポートアリーナ)も建設されたのだから老朽化した施設(福祉会館)は多額の費用をかけて建て直す必要があるのか疑問。現在ある他の施設でまかなえるのではないか。
- ・城下町に福祉会館があるのは違和感を感じる。城下町は観光地として発展させていった方がよいのでは。
- ・福祉会館は、公共施設として運営するには場所が適切でないと感じている。城下町の中で道が狭く、警備の人も困っている。この際、市民文化会館と合併し改修したほうがコストも抑えられる。
- ・福祉会館は早期に解体し、城下町に似合う施設にしたほうが良い。社協、地域包括支援センターは大切だが、今の立地では活動しにくいはず。フロイデなどへ移転するのが良い。

・福祉会館は利用する側の事を考えるべき。現在の場所にこだわらなくて良い。跡地を観光の中心となり、来犬者に再び来たいと思わせる箱物が望ましい。

・福祉会館を改築した場合、囲碁ができる場所を作るかフロイデでできるようにしてほしい

・福祉会館は城下町の景観を考えるなら別の場所へ移すべき。

・福祉会館を2階建て程度の施設にしていく考えには賛成。現建物の3～5階を撤去する方法のほうが経費が安くなることも伺っています。きちんとした試算をした上で進めてほしい。

[フロイデ]

・フロイデは、以前はハローワークのイベントで初めて訪れたが、少し閑散としていたので、目的を見直して活性化を目指すのは良いことだと思います。

・フロイデ、福祉会館を集約しては。全館稼働しているとは思えない。

・フロイデの現状へのアジャストする考え方には大いに賛成。あくまで市民目線で見てほしい。

・フロイデの駐車場がいっぱい利用をあきらめたことがある。スペースの問題があれば、立体駐車場にすることも検討してほしい。

・フロイデは寂れ具合がひどい。(2, 3階の会議室ばかりで、人も催し物もなく廃墟のよう、もったいない)

[市民文化会館]

・これまでに市民文化会館を利用する機会はありませんでした。

・文化会館本当に必要ですか。

・市民文化会館についてのお願い。公演の数・質の充実を検討いただきたい。名古屋は別にしても、犬山市周辺(小牧・春日井・各務原・可児・多治見)の各市と比較すると見劣りするようになります。私自身、よその市の友の会に入り、公演によく参加していますので、地元での魅力ある公演を増やしていただけるよう期待しております。

[体育館]

・新体育館は5年後には改修等が出てくると思うが、運営が赤字にならないよう広く利用してもらえるようにしてほしい。

・新しい市の総合体育館は、今の規模が本当に必要なかどうかをもっと十分に検討しておくべきだった。建設場所も現在地より旧市民プール跡地のほうが良かったのではないか。

・新体育館に新しいプールが作られることを期待していた。市外には色々とプールがあるのに残念。

[小学校・中学校]

・小中学校が老朽化している。子ども達が気持ちよく使えるよう一部リフォームをお願いしたい。温暖化に伴い、教室内が大変暑くなっている。低学年から冷房機器の設置を求めます。

・小学校にはクーラーがないので、子ども達が集中して勉強できるか、熱中症にならないか心配。児童館も児童クラブで使用しているので、一般の子が行けなかったりする。子どもも大人も楽しめる場所が身近にあると良い。

・小中学校にクーラーの設置を検討してほしい。

・楽田小の老朽化はかなりひどい。

[市民健康館(さら・さくら)]

・市民健康館の立地は、交通の便が悪い。

・城東地区には「さらさくら」がありますが、そのまわりには何もなく利用しづらい状況です。少子高齢化も進み犬山駅の近くに人口集中が予想され、ますます利用しなくなるのでは。公共施設の維持管理、建設場所などが問題です。

[学習等供用施設]

・学習等供用施設は、市のものなのか分からないが、多すぎ、そして汚いと思う。

[児童センター]

・児童館が古く感じます。災害時にも利用するとなるとこのままでいいのか。

【インフラ施設】

・下水道が各家庭とつながり便利にはなりますが、各家庭の水道料が倍強となります。また、各家庭の浄化槽で今までどおり維持する人はいつまでもそのままが良いのでしょうか。

・ガードレール、草刈、枝の剪定。街路灯による夜間事故防止。

・車なしでの生活ができない理由として、力(年齢による)の衰えと、交通機関の不備が挙げられると思います。バス、電車をはじめとする交通と、出かけなくてもOKな用に通信(インターネット)の整備が必要だと思います。優先順位のトップはこの2点です。

・インフラと建物を比較していますが、上下水道、電気、通信などのライフラインを最優先させるのが当然だと思う。このアンケートによって犬山市に住むことがやや不安になりました。早急に対応してほしいことばかりです。

・コミュニティバスを利用するにもバス停本数が少ない。利用がしにくい。

・市民会館や体育館での行事に参加する時にコミュニティバスを使いたいのでもう少し本数を多くしていただけないでしょうか。

・コミュニティバスは、大口町を参考にして、企業や店をバス停に加え、集客や通勤費削減の見返りに運営費を補助してもらえばウインウインになるのでは。

・交通の便が悪い市なので、駐車場は必須。

・都市ガスは、犬山には一ヶ所しかないため工事などの料金が高値過ぎる、独占的ではないか。上水道、下水道使用料が高く思われる。

・都市ガスの整備を急いでほしい。

・道路の修繕や草木の伐採等をこまめに行ってください。道路が見えなくて事故につながりやすいところありますよ。

・犬山市の道路整備の将来の都市計画が知りたい。下水道接続加入者を増やして欲しい、税収が増える。

・するすみ公園の駐車場がいつも満車で、広場は使用されていないのに不思議に思います。ある人は、するすみ公園の前にある喫茶店の人が駐車しているのでもいつも満車状態だと教えてくれました。みんなの駐車場であるので、使用方法を今一度考え直して欲しいです。一部の人が使用するのをやめて欲しい。

- ・インフラ施設は災害を見越していく。
- ・水道、ガス、電気、通信の地中化工事の推進。
- ・足を運びやすい交通の便のよさがほしい。公共施設をつなぐバスがあるといい。
- ・公共交通機関の廃止等により移動手段が限られている。全て市で賄うのは困難なので、シェアカーなど積極的に取り入れてみてはどうか。
- ・犬山市はインフラ整備が非常に遅れている。若者が出て行ってしまう。
- ・犬山の城下町を歩くと時々下水の臭いがする。
- ・通学路などの整備を含めて、児童の安全確保をお願いしたい。
- ・内田防災公園の雨水貯留層についても費用対効果が十分に検討されているとは思えない。今後の維持費や老朽化を考えると無駄遣いである。
- ・電柱の地中化の範囲を徐々に広げてほしい。
- ・犬山市民はもとより、観光客への対応、配慮を意識したインフラ整備をしてほしい。
- ・道路工事や改修がされているのを見ると、そこが優先されるべきところなのか疑問に思うことがある。生活している市民が今困っていることをしてほしい。
- ・名鉄高架工事実施に伴う道路計画を行い、観光都市としてのサービス充実をお願いしたい。
- ・緑の多い町なので、公園をもう少し整備してほしい。お散歩や陽射しを遮る場所を作ったり、ゆったりとした休息の場ができるといい。四季折々の花壇があれば最高。
- ・子ども達、老人も遊べる公園。